

## 研究会の開催

「わが国鑄銭技術の史的検討」研究集会

飛鳥藤原宮跡発掘調査部では、飛鳥池遺跡から出土した富本銭の鑄造関係遺物をもとに、富本銭の鑄



出土遺物を前にしての検討風景

造技術の復元的研究をつづけています。その成果をもとに、2月23・24日の両日、上記の研究集会を当調査部講堂で開催しました。

この会は、各地で鑄錢遺跡の調査に携わる考古学研究者や、文献史学、鑄造技術の研究者が一堂に会して、古代から中世、そして近世の鑄錢技術（お金づくりの鑄造技術）を比較検討し、技術的な系譜を明らかにしようとするものです。

これらの研究成果を受けて、当調査部では、富本錢の鑄造実験に着手しました。できあがったばかりの古代の富本錢が、どのような色で光り輝いていたのか、それがもうすぐ解明されようとしています。

（飛鳥藤原宮跡発掘調査部）